

祝 詞



学校法人 関西大学
理事長 森本 靖一郎

栄光の歴史と伝統を有する関西大学体育会レスリング部が、創部60周年の記念すべき慶節を迎えられましたことは、誠に喜ばしく、ご同慶の至りに存じます。

レスリングは、人類最古のスポーツとして、その歴史を古代ギリシアにまで遡ると言われております。古代オリンピックにあって、人々を最も興奮させた主要競技の一つであり、短距離走、幅跳び、円盤投げ、やり投げなどの競技に勝ち残った選手が、神前に闘いの場を移して競技したことから鑑みて、レスリングが非常に高いステータスを有していたことが伺えます。

このようにレスリングは、長い歴史を有しておりますが、我が関西大学レスリング部は、戦後の荒廃した中、競技をこよなく愛する同好の士の力強い結束とご努力により、昭和23年に呱呱の声を挙げられました。初代監督には、名選手の誉れ高かった村田恒太郎氏を迎え、猛練習に取り組みましたと聞き及んでおります。その成果は早くも開花し、翌昭和24年に初出場を果たした関西学生リーグにおいて、並み居る強豪を退けて、見事優勝を成し遂げられました。

爾来、日々の鍛錬を重ねた幾多の選手が、国内の主要大会にとどまらず、世界大会においても活躍され、長きにわたって黄金時代を築かれました。昭和39年には、市口政光氏が東京オリンピックに出場し、本学初の金メダルを獲得するに至りました。燦然と輝くこの偉業は、関西大学にとどまらず、わが国の歴史にも深く刻みこまれたことは他言を待ちません。

しかしながら、「栄枯盛衰は世の習い」と申しますが、黄金期の後は、しばし雌伏の時を余儀なくされ、ようやくその時期を脱して、今年17年ぶりに西日本学生リーグ第1部に復帰を果たされました。この間、歴代の監督、コーチ陣による愛情溢れるご指導やOB諸氏の献身的なサポートが、選手諸君を勇気づけ、どれほど励みになったことであらう。

苗木を大樹にするためには、幹の生長に目をうばわれがちですが、地中の根を大きく張らせることを忘れてはなりません。花を咲かせることを急ぎますと、花のあとの結実した果実をおろそかにしてしまいます。要するところ、大樹でなければ豊かな実をつけないということであります。

どうか、レスリング部にあっては、大地にしっかりと根を張り、青空に向かって伸びやかに枝葉を茂らせ、揺るぎなくそこに在る大樹として、選手の人格の陶冶と技術の向上に努めていただきたいと思えます。

レスリング部の現役・OBの皆様が、60年にわたる伝統を継承しつつ、未来に向けて大いなる飛翔をされますよう大いなる期待を寄せ、熱い祝福をお贈りするものであります。

以 上